

あとから来る者のために  
坂村 真良

あとから来る者のために  
田畑を耕し  
種を用意しておくのだ  
山を  
川を  
海を  
きれいにしておくのだ  
ああ  
あとから来る者のために  
苦勞をし  
我慢をし  
みなそれぞれの力を傾けるのだ  
あとからあとから続いてくる  
あの可愛い者たちのために  
みなそれぞれ自分ができる  
なにかをしてゆくののだ

## EM で楽しむ花のまちづくり

地球環境共生ネットワーク  
理事長 比嘉 照夫

私は平成2年から28年まで26年間にわたって、国土交通省と農林水産省の提唱する、花のまちづくりコンクールの審査委員長を務めました。昭和の終わりに大成功を収めた「大阪花博」の理念である、「自然と人間との共生」を花のまちづくりコンクールを通して定着させ、日本を風格のある美しい国にすることが要となっています。

大阪花博の最終日に政府館で今後の方向性についてのシンポジウムがあり、私がコーディネーターを務めた関係で、私が委員長に指名され、日本花の会を事務局としてスタートしました。このコンクールの究極は、「花の社会性」を掘り起こし、まちづくりに貢献することであり、園児から高齢者を含めた全員参加による美しい、住んで楽しいまちづくりです。

30年も経過した今日、このコンクールは観光日本や地域振興にも着実に貢献しており、潜在的に大きな社会資産となっています。かつて、U-netの事務局長を務めた岩井さんやU-net内で「花のまちづくり」を主導してくれた滝島さん達が、「日本花の会時代」に作ったコンクールの要領が年々成長しています。

U-netの積極的な協力もあり、花のまちづくりコンクールでもEMが積極的に活用され、花を美しく見せるための環境整備や水質浄化、生ごみリサイクルも定着するようになりました。

審査は、花いっぱいも重要ですが、更に進化させて、生態系的なつながりをまち中に広げることや、地域の生物多様性を豊かにし、ボランティアが定着するレベルも対象にしています。技術的な面では、安全、快適、低コスト、持続可能(ローメンテナンス)をチェックポイントにしています。

EMを活用すると、楽々にこの条件を乗り越えることができますので、今回は、そのポイントを説明します。新型コロナ対策は、EM生活に徹底することと同時に、庭や花々のEM力の向上を図ると、安定的な環境浄化としても機能します。

### ①EM で不耕起と徹底した雑草管理を

炭入りの EM ダンゴを作り、花壇の四隅に結界を作るように埋め込みます。可能であれば、花壇全体に 50～60 cm 間隔で EM ダンゴを埋め、好きな花をとりどりに植え、宿根や球根の花々も入れ多様化し、生態系が自然に出来る準備をします。

その後は、発生する雑草や残渣を敷いて、30～50 倍にした EM 活性液を十分浸み込むように散布します。EM バケツで発酵させた生ごみも表面に敷きつめ、剪定した枝葉等で覆いをして、その上から EM 活性液を散布します。要するに、家庭からの生ごみや花壇や庭から発生する有機物はすべて土に戻し、EM を処理すると不耕起と雑草管理が容易になります。

### ②花が終わった株のみ抜き取って、次の苗を植える

花壇を丸裸にしないで、元気な花は残し、寂しくなった部分に好きな花苗を補植します。生育が悪い場合は、ボカシを追肥的にやりますが、有機物の循環が定着すると土壌の腐植が増え、次第に肥沃化します。年に1～2回、EM グラビトロン炭を施用すれば(1 m<sup>2</sup> 当たり 30～50g) 波動も高まり、植物も元気になり、管理する人も見る人も元気になる「癒しの花壇」になります。

### ③花の終わったポットは土を変えず EM ダンゴを埋めボカシを追肥する

かつては、花づくりは土づくり、特に鉢植え等々の土の入れ替えは大変な作業となります。その作業を省く方法として、炭入りEMダンゴを鉢のサイズに合わせて大中小を作り、一鉢に1個、プランターで2～3個埋め込んで、ボカシを追肥すれば楽々きれいに咲かせることができます。球根や宿根の場合は、小さなEMダンゴを作り四隅に埋め込み、ボカシで追肥すれば見事なものとなります。植え替えの場合は、土を除かずそのまま広い鉢の底にEMダンゴを入れ、足りない土を補充します。

①～③を徹底すれば、個々の花壇も生態系を形成するようになり、その存在が花のまちづくりとして、美しく楽しい社会資産となります。



自宅の EM 花壇です



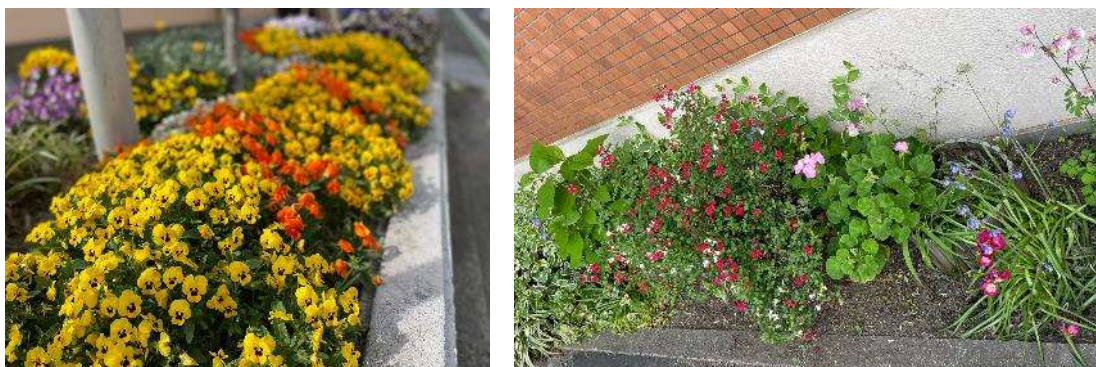
1 年中、花が咲いています

🌸🌸 あなたの EM 花壇情報をお知らせください 🌸🌸

U-net では EM を活用した EM 花壇情報を集めています。コロナ下でも元気に、ご自宅で EM を活用した花壇づくりや、プランターでの花づくりを楽しまれている方は事務局にご連絡頂けると助かります。

## ■EM 花壇情報(例)

朝霞厚生病院(埼玉県)では EM を活用した無農薬の花壇づくりをしています。花壇には季節ごとに色々な花が咲き、通院される患者様だけでなく、通行人の方々にも喜んで頂いています。



## 【事務局からのお知らせ】

### ■比嘉理事長講演会の年間スケジュールが決まりました。

U-net 会員向け比嘉理事長講演会(Zoom 開催)の年間スケジュールが決まりました。講演会に併せて優良事例報告会や技術セミナーも開催予定ですので是非ご参加ください。パソコンをお持ちでなくても、お手持ちの携帯電話(スマートフォン)から Web 会議ツールアプリの Zoom を使って簡単に参加できます。「スマートフォンからの Zoom 参加方法について」の説明文を添付しましたので、この機会に Zoom の使い方を学んで、お手持ちのスマートフォンで比嘉先生の講演会をご視聴ください。

- 第 1 回 2021 年 5 月 14 日(金)
- 第 2 回 2021 年 7 月 2 日(金)
- 第 3 回 2021 年 9 月 3 日(金)
- 第 4 回 2021 年 10 月 22 日(金)
- 第 5 回 2021 年 12 月 17 日(金)(予備日)

### ■今年度の海の日、山の日のイベントについて

4月2日に開催された本会執行委員会にて、コロナ感染が継続していることから、本年度も海の日における人が多く集まるイベントは控え、U-net 通信などを通して身の回りからできる EM を活用した環境浄化について情報を発信し、普及していくことになりました。山の日については、今年度は野本理事らが愛媛県で人工林をブナの森に再生する取り組みを応援し、今後の活動の見本となるモデルをつくることになりました。

### ■ゴミを減らして地球に優しいエコ活動ペーパーレス化にご協力ください。

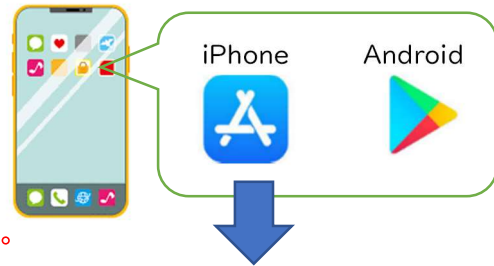
現在、U-net 通信は印刷して郵送するか、PDF ファイルにてして電子メールで会員の皆様に送っていますが、事務局では引き続き、本会の設立理念にそって、地球環境に優しいペーパーレス化を推進したいと考えております。日頃からパソコンやスマホを利用されている会員の方で、次回からは郵送ではなく、電子メール(PDF ファイル)で送ってもらっても問題ないという方は U-net 事務局にメール(宛先 info@unet.or.jp)ご連絡頂けると大変助かります。

## スマートフォンからの zoom 参加方法について

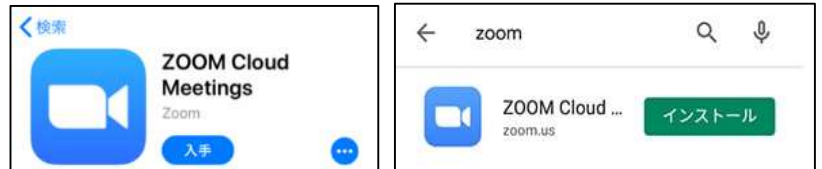
### 【アプリのインストール】

Zoom アプリはストアからインストールをします。(iOS の場合は App Store  
Android スマホの場合は Google Play)

※スマホから利用する場合は、会議を主催する側も参加する側もアプリのインストールが必須です。



※アプリを開きますとサインアップを求められますが、参加のみであればサインアップは必要ありません。



### 【Zoom への参加方法】

①U-net 事務局から zoom へ参加するための URL が U-net へ登録したメールアドレスに通知されます。



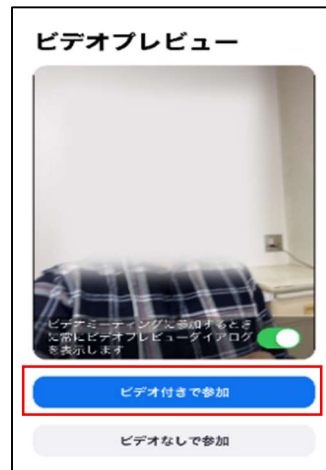
②URL をクリックすると自動的にアプリが起動しメールアドレスと名前を記入する画面が表示されます。



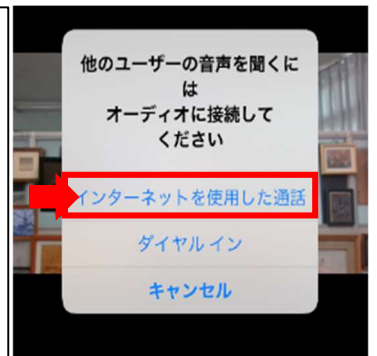
※スクリーンネーム:名前を入力する欄です。  
フルネームをご入力ください。

※お申込みいただきましたお名前でない場合  
会議への参加を許可できない事がございます。  
例:〇〇の iPhone、〇〇〇〇〇@gmail.com 等

③スクリーンネームおよびメールアドレスを入力しますと、ビデオ参加の有無について確認する画面になりますので、「ビデオ付きで参加」を選択します。



④ビデオ設定が終了すると自動的に音声の設定画面に移行します。「インターネットを経由した通話」「ダイヤルイン」「キャンセル」3つのメニューが出てきますので、一番上の「インターネットを経由した通話」を選択します。



⑤設定は終了です。

メインの画面は発言者が映るように設定しております。  
スマートフォンの画面を左にスワイプすると参加者でビデオがオンになっている方の画面を見ることができます。

※詳しい音声や画面、マイクの設定は会議の冒頭でお知らせいたします。